

2023年2月7日(火) 発行

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ



〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨YMCAグローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

◆2022-2023年度 主題◆

国際会長	ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)	「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長	シェン・チ・ミン (台湾)	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
東日本区理事	佐藤 重良 甲府21	「未来に向けて今すぐ行動しよう」
あずさ部部长	後藤 明久(富士五湖)	「ワイズへの参加と交流を楽しもう」
甲府21クラブ会長	廣瀬 健	「目標を決断し実行する」 Go for it!

甲府21ワイズメンズクラブ
2023年 2月会報

今月の強調テーマ
TOF,FF,HTW

【今月の聖句】

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、
神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

ローマ人への手紙 8章 28節 【選者 清藤 城宏】

〈2月TOF例会プログラム〉

日時：2023年2月07日(火) 19:00 開会
会場 山梨YMCA グローバルコミュニティセンター
形態 ハイブリッド開催

司会 松村豪夫ワイズ
会場準備：ブリテン委員

1. 開会点鐘
2. ワイズソング
3. ワイズの信条
4. 今月の聖句 清藤ワイズ
5. 副会長あいさつ 飯田剛副会長
6. ハッピーバースデー
7. 東西交流会の報告
8. 諸報告
9. YMCAの歌
10. 閉会点鐘

*TOF例会です。相川さん、廣瀬会長への黙祷
次期役員の発表も行います。

《2月の誕生者》 Happy Birthday!

<メン>
山縣 譲治 (2/6)

<メネット>
荻野 優子 (2/4)
鎌田 千里 (2/9)
饗場 雅子 (2/10)

【会計報告】

2022年1月末現在



項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
1月の合計	0	0	0	0
1月末迄累計	127,003	287,471	75,000	489,474
達成率	50.8%	287.5%	150.0%	122.4%

※1月は合同例会の為、総額は不明ですが全額山梨YMCA
に寄付しています。

2月巻頭言

会長代行 飯田 剛副会長

本年1月だけの短時日に、メンバーの重鎮であった相川 貴宏様、
現会長の廣瀬 健様の、2名ものメンバー巨星を、失ってしまい、
新春の気分で始まった新年が、クラブにとっては、重苦しいもの
になってしまいました。

名ばかりの、副会長と言う気楽であった立場にとんでもない重
圧が、降りかかってきました。

この上は、皆様のご援助を頂き、精一杯、職責を全うしたいと
思います。廣瀬会長のような、リーダーシップは、取れませんが、
宜しく願い致します。

今年6月3日、4日には、わが甲府21クラブが、ホストクラブ
としての、東日本区大会という大イベントがあり、実行委員会の
皆様の努力で、着々と、準備が進んでいます。

関係各位の、ご労苦に感謝申し上げます。佐藤理事を輩出して
いる、クラブとしてのメンツがあります。この大会を成功させると
ともに、その他の行事の遂行もつつがなく実施しなければなりません。

さて、「数は力」 Y'sメンズクラブの発展・拡大の為の要素は、
より多くの人材が必要です。

近年、会員増強では、我がクラブは、全国でも模範クラブでした。
これをもっと拡大出来れば、と考えます。

凶らずも、昨年、京都パレスクラブ様との交流の折、ダイナミック
に活動している、源泉に、このヒントも頂きました。昨年来、
我がクラブでは、市川 EMC 委員長が、具体的手法を提案され
ました。核心を突いた、的を射た、ものでした。この新しい動き
も始まりました。

これをきっかけに、この会員増強を、全会員で再確認して、実
行したいと思えます。

Y'sメンズクラブに入りたい、是非参加したい、と言う人が増え
る時を夢見ながら、

Y'sメンズクラブ発展に資する、今できる事を、したいと考えます。
あと、半年間の会員各位のご支援を重ねてお願い申し上げます。

例会報告

書記 水越正高

例会報告

□2023 年 1 月第一例会報告□

□日時 2023 年 1 月 10 日 (火)

□会場 ホテル談露館

2023 年 1 月 10 日 (火) ホテル談露館にて山梨県下すべてのクラブが集い、4 クラブ合同の新年合同例会が開催されました。

甲府クラブ会長である田中ワイズの新春の挨拶に始まり、佐藤理事、後藤あずさ部部長の挨拶と県内のワイズメンをまとめる皆様からの挨拶には新年にける熱い気持ちを感じました。

卓話としてゲスト参加して下さった山梨大学生命環境部【下田 万葉】さんの IYC 参加報告を改めて聞く機会を得ることが出来ました。IYC に参加することで未来への新しい活力を得ることに繋がったとの報告を聞くことができ、私たちの支援がユースの力になることが出来たことを実感する機会となりました。

懇親会ではバイオリニストの飯田 華代子様に御出演いただき、非常に素敵な音色の楽曲の数々をご披露いただきました。

普段は交流する機会の少ない他クラブのメンバーと食事と会話を楽しむ機会となった事を報告いたします。

参加者数 18 名 【会場参加メンバー：17 名
メネット：1 名】

□2023 年 1 月第二例会報告□

□日時 2023 年 1 月 24 日 (火) 18:30 ~

□会場 山梨 YMCA グローバルコミュニティーセンター

※ZOOM によるハイブリッド開催

1 月第 2 例会では 4 名のゲストが例会にお越しくださいました。

佐藤ワイズのご友人が 3 名、クリスマス例会にて独唱を披露くださいました杉田博子さんがお越しくださいましたので、会員の自己紹介を実施いたしました。

その後に廣瀬会長の体調不良による活動参加が難しい事を会員に説明、役員会にて飯田ワイズを会長代理として今年度の活動を継続し、今後予定している各種行事を遂行していくことを承認

いただきました。

感染状況をみながら第 2 例会での懇親会の開催など、ワイズメンの関係性強化にむけた活動も視野に入れていくことが小澤副会長より説明がありました。

今後の例会内容

2月東西交流会報告会

3月ゲスト卓話 岡安様

4月ベビーカーコンサート

5月チャリラン

6月東日本区大会

とスケジュールをお伝えし今後の活動協力を連絡

◎諸報告

①東西交流会詳細連絡

②【お正月を遊ぼう】の活動報告

③会費支払いの件

④評議会連絡

参加者数 22 名 【会場参加メンバー：14 名
メネット 2 名 ZOOM：4 名 ゲスト 4 名】

今後の予定

〈2月〉

2月4~5日 第3回東西日本区交流会

2月7日 第1例会 19時

2月21日 第2例会 18時半

2月22日 ピンクシャッター

〈3月〉

3月4~5日 次期クラブ会長研修@東山荘

3月7日 第1例会 19時

3月28日 第2例会 18時半

〈4月〉

4月4日 第1例会 19時

4月8~9日 第3回東日本区役員会

4月18日 第2例会 18時半

4月22日 ベビーカーコンサート

*先達を憶えて 例会が開催されます。

故相川貴宏さん 故廣瀬健さん

《1月の出席者》



48%

会員数	50名
例会出席者	24名
ゲスト参加者	4名
メネット	2名
総出席者数	30名
出席率	48%

先達（せんだつ）を覚えて

2023 年 1 月、私たちは二人の仲間を見送りました。
悲しみの中、私たちは二人の先達を覚えて、前を向き、歩みを止めません。

ブリテン委員長 野々垣 和宏



相川 貴宏 様

昭和 17 年 7 月 15 日
生まれ（満 80 歳）
令和 5 年 1 月 25 日逝
去

1994 年 4 月入会。
2001 年度クラブ会長。
YMCA との関係はハイ
Y の時から。



廣瀬 健 様

昭和 34 年 11 月 16 日
生まれ（満 63 歳）
令和 5 年 1 月 30 日逝
去

2014 年 12 月 14 日入
会。あずき部部長を務
めたあと、2022 年 7
月より甲府 21 会長。



① 2023 年 1 月 8 日 甲府駅北口
= お正月を楽しもう 甲府 21 はこままわし担当



② 2023 年 1 月 10 日 甲府市談露館
= 甲府クラブ、富士五湖クラブ、甲府 21 クラブ
甲府やまなみクラブ 4 クラブ合同新年会



③ 2023 年 2 月 4 日（土）神戸 ANA クラウンプラザ
= 第 3 回東西日本区交流会 東日本区大会 PR タイム



④ 東西日本区交流会にて 東日本区大会を PR



⑤ 東西日本区交流会にて 円いテーブル 宴たけなわ



⑥ 東西日本区交流会にて 円いテーブル 宴たけなわ 2

フォトコーナー

- ① 一月八日 お正月を楽しもう
- ② 一月十日 山梨四クラブ合同例会
- ③ 東西日本区交流会

◆YMCA便り◆

「山梨YMCA FOR ALL」

総主事 中田 純子

2022 年度も残り 2 ヶ月となりました。総主事として歩みを進めてきたこの 1 年、前総主事から引き継いだ、「山梨 YMCA FOR ALL」の実現に向けもう一度考えたいと思います。

これまで「地域共生社会」「FOR ALL」「ケアコミュニティ」これらのキーワードをコンセプトに事業展開してきました。高齢者支援、乳幼児保育、児童発達支援、学童保育、外国籍市民支援等、地域と共に生きることを目的に進めてきた事業です。YMCAでは、この事業が互いに存在しながらも、共存共生していける空間を提供することに意味があり、人の生涯に寄り添う為の事業展開することが重要となります。

人の生涯とは「0 歳から」ではなく「お母さんのお腹の中から」、「男女の出会いから始まる」と考えると、途切れ目のない人の生涯に寄り添う事になります。

また、寄り添いとはひとりひとりがお互いに自分事として人に接し、自分が誰かに助けられていると感謝し喜び、人に優しくなれる事だと信じます。この当たり前の事があふれている日常こそが山梨 YMCA の目指す寄り添いです。

さらに、この寄り添いが誰もが自然にでき「隣人愛」に包まれた地域共生社会の実現を地域に発信していくことが、山梨の「FOR ALL」であると再確認され、2023 年度への準備を進めていこうと胸を膨らませます。



ペンリレー

「もう少し頑張れるぞ!」

浅川 貴明

今回ペンリレーの方を承りました浅川です。前回では私の趣味であります海釣りの方を少し紹介させていただきました。

さて今回は何を書けばよろしいかと考えておりましたが、私のもう一つの趣味でありますバイクについて少しお話させていただければと思います。

実は 18 歳で大型自動二輪の免許を取得しそれから念願でありましたハーレーダビットソン 1969 年式のバイクを数年乗っておりましたが家庭ができ子供を授かり泣く泣く手放す事になってしまいました。それから 15 年がたち少し落ち着いてきましたので最近オフロードのバイクを購入し休日には仲間と共に山梨県内の山々にツーリングに行かさせていただいております。

そこで感じるのは山梨県の自然の豊かさはもちろんですが、生まれてからずっと山梨に居るにも関わらず全く知らない場所がいくつもあり改めて県内の大きさや自然の深さに毎回驚かされております。

また山頂付近から甲府盆地を眺め、仲間と共にくだらない話をしながら昼食を取る時間が楽しみの一つです、またその景色見ること自分自身の小ささを改めて感じ「もう少し頑張れるぞ」と背中を押してくれているような気がいたします。

だからこそ皆さんと手を取り合い一人では決してなしえない大きな力となり、より地域や子供たちに対し思いやりあふれる素晴らしい活動ができてくるものだと思います。

新型コロナウイルスも with コロナと昨今では言われ始めておりますが、皆様と共に考え試行錯誤していきながら少しでも私たちの地域や子供たちの為に活動出来ていけるように邁進してまいります。

結びになりますがなかなか例会の方に出席できずに申し訳ありません。

リモート等も準備していただいておりますので少しでも皆様と交流を深めて行きたいと思っておりますので今後ともご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。

